

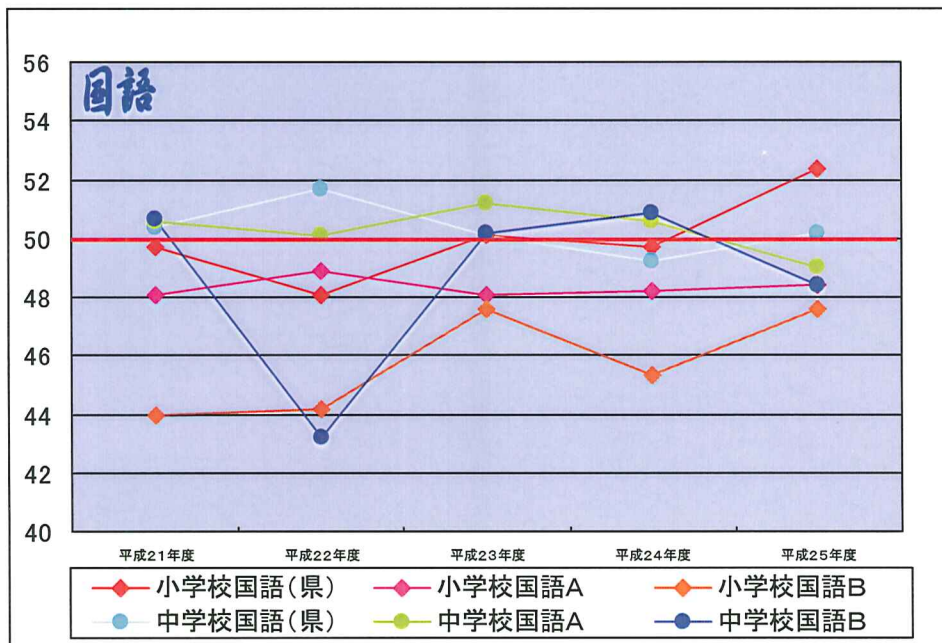
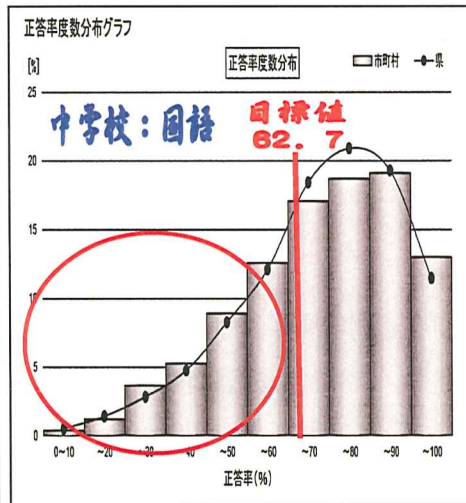
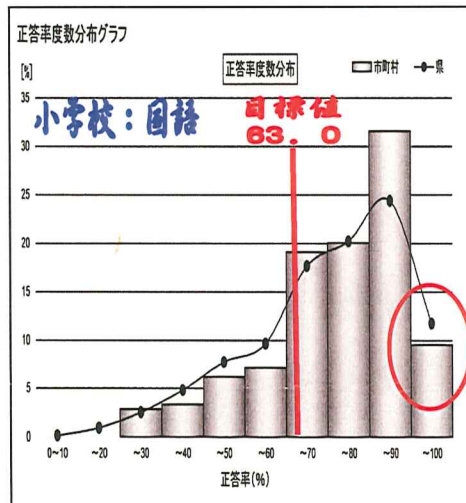
【大分県学力定着状況調査 4月16日(火)実施】

〈国語：偏差値〉

偏差値 (小5)	国語	
	知識	活用
大分県	51.4	50.2
国東市	52.8	50.3

偏差値 (中2)	国語	
	知識	活用
大分県	50.5	49.9
国東市	50.3	49.9

問題の内容	小5	中2
話し合いの内容を聞き取る	49.1	48.8
漢字を読む	50.9	52.1
漢字を書く	51.9	50.5
言葉の学習・文法、語句に関する知識	53.1	51.6
物語(文学作品)の内容を読み取る。	50.0	48.7
説明文の内容を読み取る。	50.1	49.1
ポスターと話し合いの内容を読みとる 2枚のカードの内容を比較する	49.8	49.1
作文	55.0	50.6



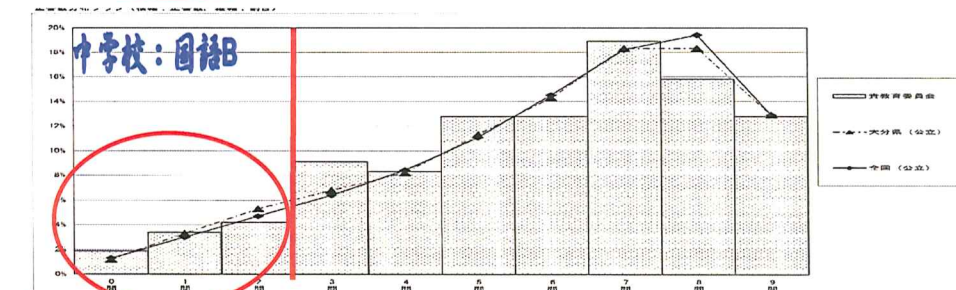
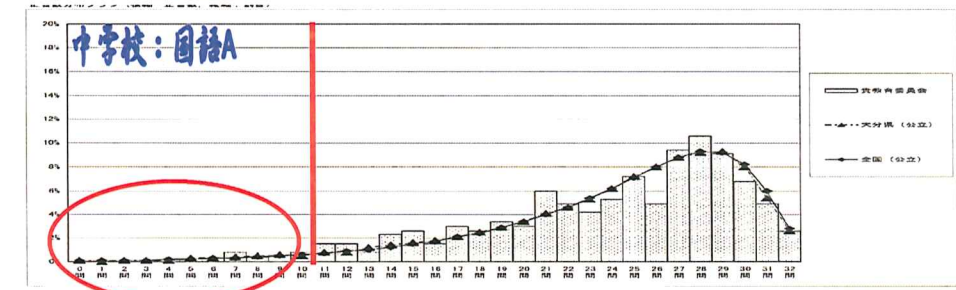
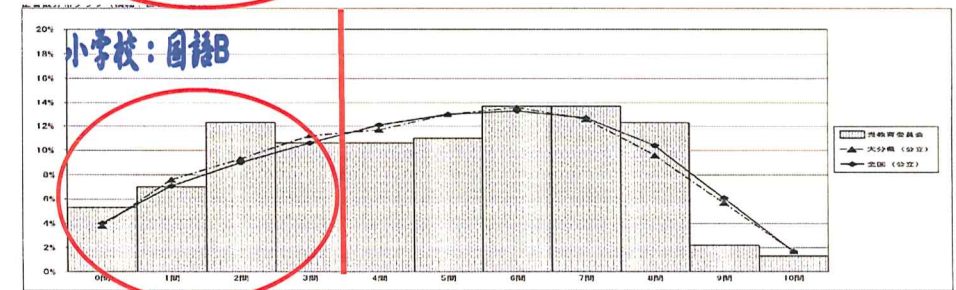
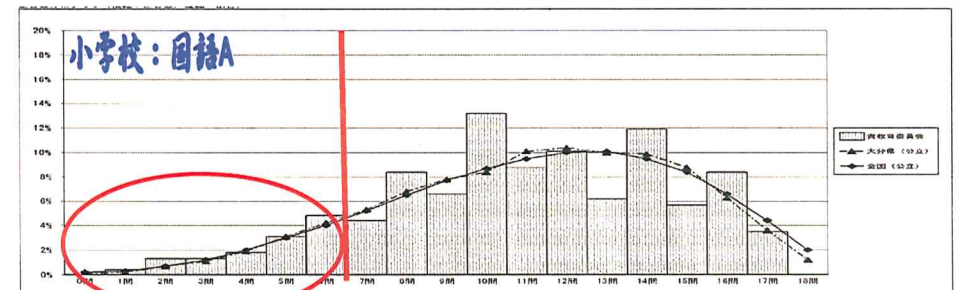
【全国学力・学習状況調査 4月24日(水)実施】

〈国語：正答率〉

偏差値 (小6)	国語	
	知識	活用
全国	62.7	49.4
大分県	62.3	48.7
国東市	60.7	47.0

偏差値 (中3)	国語	
	知識	活用
全国	76.4	67.4
大分県	76.0	66.7
国東市	74.9	65.3

問題の内容	小6A	小6B	中3A	中3B
話すこと・聞くこと	51.5	62.0	76.2	
書くこと	54.3	41.0	64.2	59.4
読むこと	60.1	48.1	76.0	65.8
伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	59.7	56.4	76.6	60.8
選択式	63.7	53.9	75.9	65.3
短答式	59.6	43.8	73.0	83.0
記述式	51.5	44.7		59.4



○「知識」について

- ・漢字や語句、文法、表現技法等の確実な習得のために、繰り返し練習が必要である。また、ただ単に練習するだけでなく、「形が似た漢字」「音が同じで使い分けが必要な漢字」「類義語」「対義語」等テーマを決めたり工夫して取り組ませる。
- ・学習の機会の少ない詩・短歌・俳句・古典等の暗唱や視写、新聞を活用したコラムの要約等、宿題と結びつけて取り組ませる。
- ・記述する力を高めるために、様々な場面で「書く」活動を設定する工夫をする。
(文章を読み自分の考えを書く・本文の要約・インタビューの取材・スピーチ原稿・手紙・礼状・記録・報告・紹介・説明文・意見文 等)

○「活用」について

- ・「必要な情報を素早く見つける読み方」「必要な部分だけを詳細に分析する読み方」等、目的に応じた様々な読み方をさせる。
- ・条件に即応した記述をしなければならない場面を設定する。(子どもに、優れたモデルを意図的に提示することも大切である。)
*時間・字数・文章の形態・文体・テーマ・対象・使用語彙・要約・引用・例示・技法(反復・倒置・比喩・反語等)・構成

○「単元を貫く言語活動」を設定した、課題解決的な展開の授業実践を充実させる。

○当該学年で学習する国語に関する用語を確実に定着させる。(授業で使う・教師もあいまいな言葉を使わない)

○読書に親しませる。(「考える力」「感じる力」「表す力」「国語の知識」等のいずれにもかかわり、これらを育てる上で中核となるもの)

「毎日読書をしている」(全国値64.9 大分県29.0)

偏差値 (小5)	算数	
	知識	活用
大分県	52.0	51.7
国東市	53.2	51.9

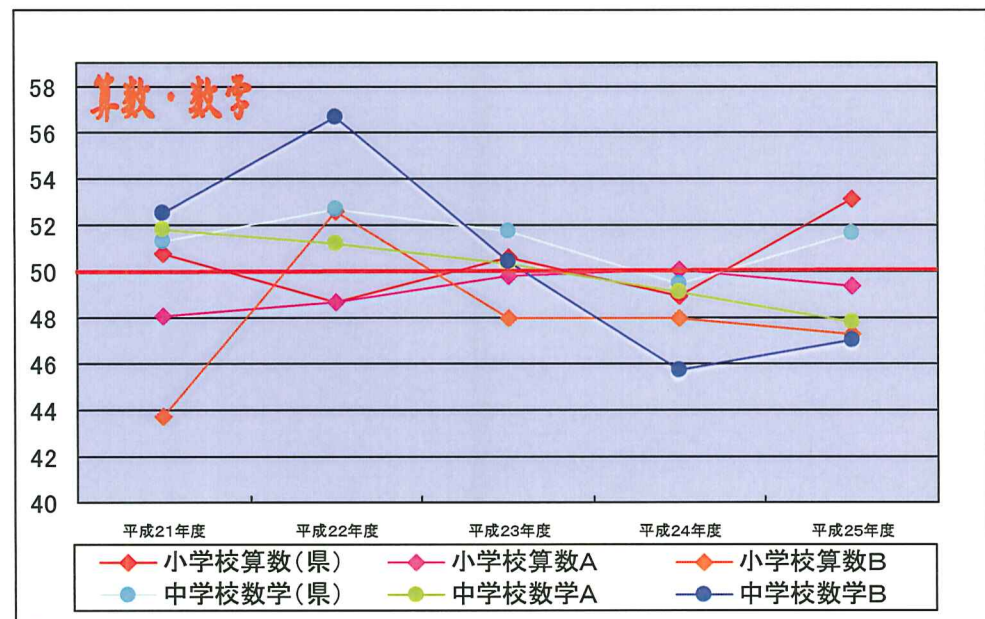
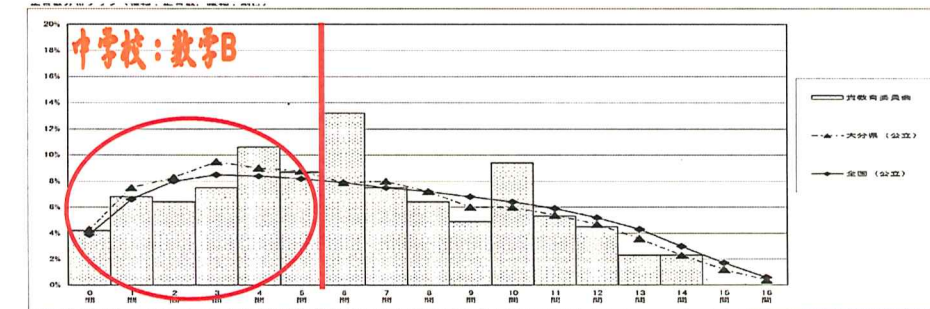
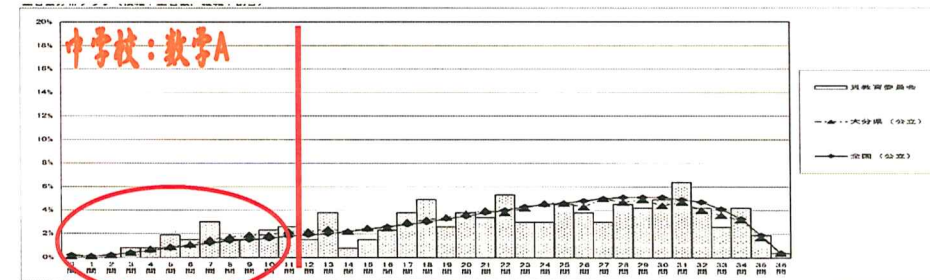
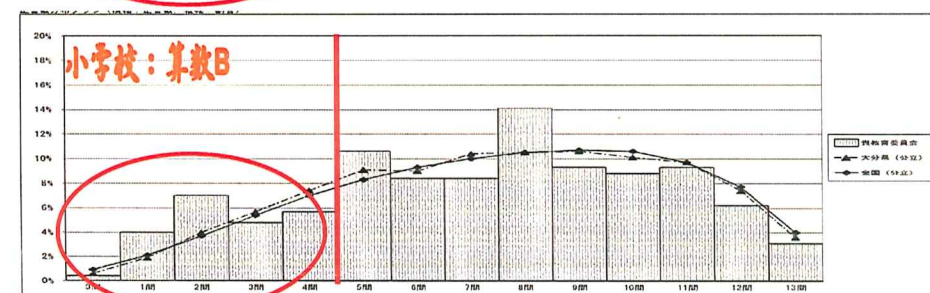
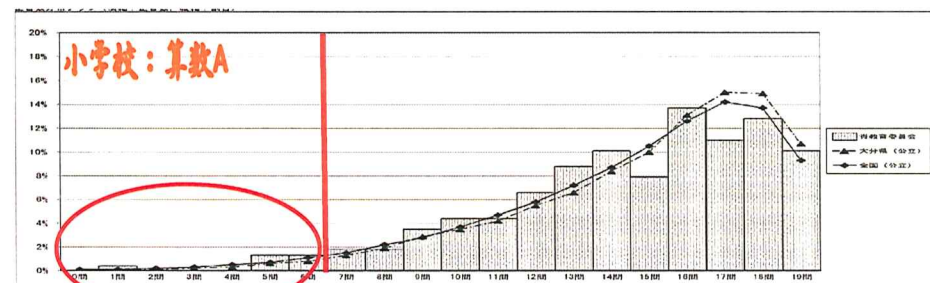
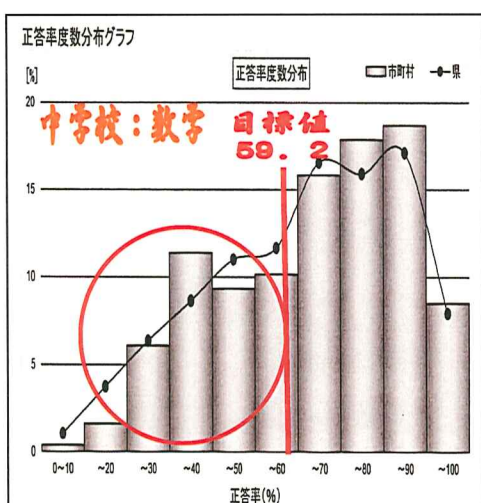
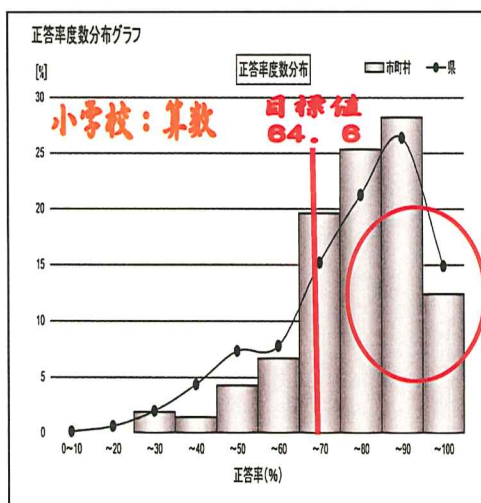
偏差値 (中2)	数学	
	知識	活用
大分県	50.8	50.3
国東市	52.0	49.8

偏差値 (小6)	算数	
	知識	活用
全国	77.2	58.4
大分県	78.7	57.8
国東市	76.2	55.2

偏差値 (中3)	数学	
	知識	活用
全国	63.7	41.5
大分県	62.0	39.2
国東市	60.9	39.0

問題の内容	小5	中2
計算の復習	50.9	50.3
億と兆、概数の表し方 正の数・負の数	53.5	52.0
わり算 文字式	51.8	51.3
小数 1次方程式	52.4	50.3
分数 比例・反比例	52.2	50.5
角の大きさ	53.3	
面積 平面図形	50.8	52.6
いろいろな形 空間図形	53.2	51.7
計算のきまり・変わり方調べ	52.4	
折れ線グラフと表 資料の散らばりと代表値	50.8	52.2

問題の内容	小6A	小6B	中3A	中3B
数と計算 数と式	78.2	45.5	68.4	41.9
量と測定 関数	69.8	50.8	60.9	34.3
図形	71.8	74.7	57.4	35.3
数量関係 資料の活用	81.9	53.3	48.3	44.5
選択式	67.0	69.5	59.3	42.1
短答式	82.0	60.9	62.5	55.5
記述式		39.1		25.3



- 「知識」について
 - ・四則演算は、習熟の徹底を図る。（ドリルな取組や家庭学習との連携を図る）
 - ・領域ごとの実態を分析し、課題のある「単元」についての習熟を図る。
- 「活用」について
 - ・数学的な表現を用いて、根拠を明確にし、説明し伝え合う活動を重視した授業に取り組む。
 - 「見通しをもち、根拠を明らかにし、筋道立てて考える学習」「式、図、表、グラフなどの数学的表現を適切に用いて問題を解決する学習」
 - 「自分の考えをわかりやすく説明したり、互いの考えを表現し合ったりする学習活動」等
 - ・授業の中で記述させる場面を設定する。
 - 「見いだした事柄や事実を説明する問題」「事柄を調べる方法や手順を説明する問題」「事柄が成り立つ理由を説明する問題」
 - （○○は、△△である。） （○○を用いて、△△をする。） （○○であるから、△△である。）
 - ・全国調査のB問題、直接過去問題に触れさせておく必要がある。（どのような考えを問うているのか確認する）

【大分県学力定着状況調査 4月16日（火）実施】

〈理科：偏差値〉

偏差値 (小5)	理科	
	知識	活用
大分県	50.9	50.7
国東市	52.2	51.5

偏差値 (中2)	理科	
	知識	活用
大分県	50.2	49.7
国東市	49.8	50.3

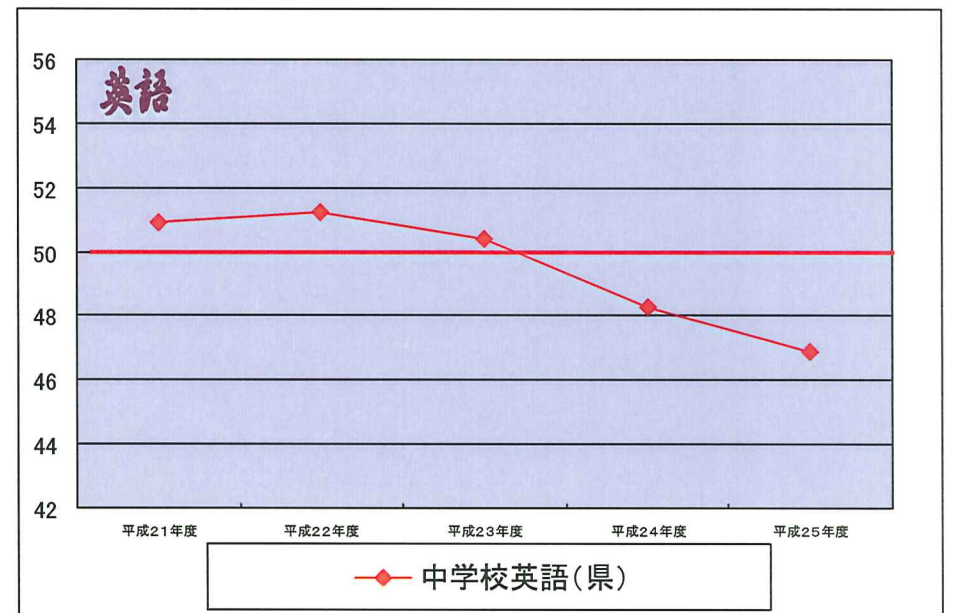
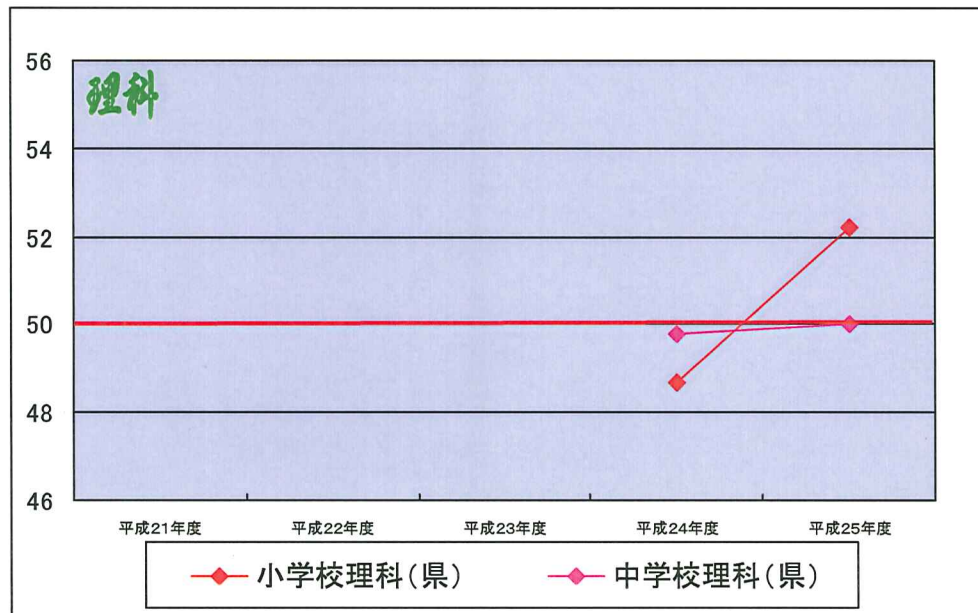
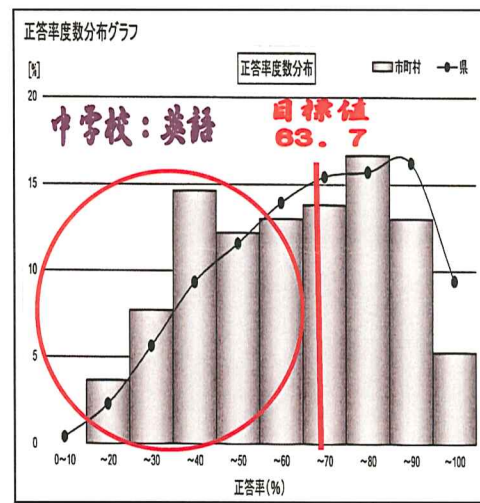
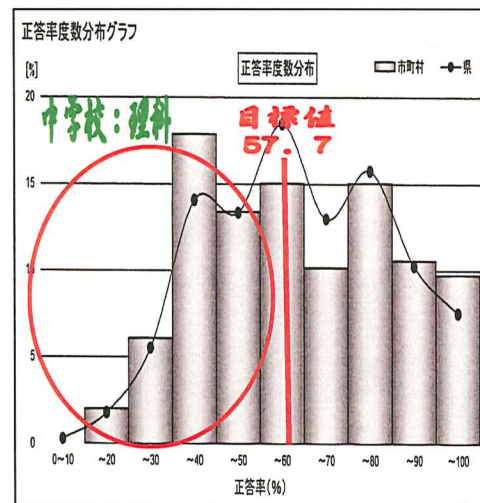
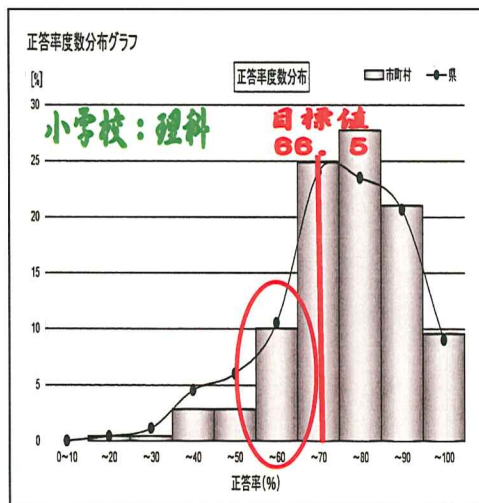
問題の内容	小5	中2
1年間の植物の成長 植物の体のつくりとはたらき 植物の分類	50.9	48.3 50.6
1年間の動物のようす 身近な生物の観察	50.9	51.2
天気の様子と気温	50.5	
電気のはたらき	53.3	
動物の体のつくりと運動	50.7	
月と星 (光と音の性質)	51.9	48.8
物の体積の力 身の回りの物質とその性質	49.6	48.5
物の体積と温度	53.4	
水のすがたとゆくえ 気体の発生と性質	50.4	51.8
物のあたたまり方 物質の状態変化	51.0	49.4
水溶液		49.1
力と圧力		50.9
火山活動と火成岩		51.2
地層の重なり		49.7

【大分県学力定着状況調査 4月16日（火）実施】

〈英語：偏差値〉

偏差値 (中2)	英語	
	知識	活用
大分県	48.9	49.5
国東市	46.8	47.6

問題の内容	中2
リスニング（内容理解）	47.1
リスニング（対話文の応答）	46.7
語形・語法の知識・理解	48.8
語彙の知識・理解	47.1
さまざまな英文の読み取り	47.6
長文の読み取り	46.7
単語の並び替えによる英作文	48.3
場面に応じて書く英作文	48.2
3文以上の英作文	48.6



- 実験や観察を充実させた学習を行う。
 - ・目的をはっきりさせ、実験・観察を行う。その上で、子どもの言葉で考えを表現させる活動を充実させる。
 - ・日常生活とつながりをもたせながら、科学的な思考をさせていく。
 - ・実験手順をしっかり理解させ取り組ませる。(器具の使用についても)
- 系統性や単元の関連性を考え、科学的な言葉や概念を使用する機会を充実させる。(既習学習の活用)
- 特に中学校においては、観察・実験における結果の処理ができるようにするため、結果を表にまとめたり、数値の処理をしたり、グラフ化したりする活動を充実させる。

- 「聞く力」では、具体的な場面に応じた応答の仕方についてのやりとりを日常化する。また、聞き取りの中で、キーワードや要点を取り出す設定をつくる。
- 「読む力」では、英問英答・内容の要約・タイトル付けなどの発問を工夫して読みを促す。また、自分の考えを自分の言葉で述べる活動を習慣化させる。
- 「書く力」では、日記・思い出・speech など複数の英作文をつくる活動を取り入れるその際、and・but・because など接続詞を用いて書くことを意識させる。(アウトプットの活動の充実)
- 「言語や文化」では、英語の語順は徹底して指導する。語彙や語法の習得においては、ドリルや反復学習・単語テスト・小テストなども必要である。

■授業力の向上

- 授業参観による学び
 - ・各種公開授業から何を学ぶか（交流）
- 校内研究の充実
 - ・子どもの課題からの取組
 - ・全学校研究指定校（教職員・家庭・地域に公開）
- 授業力向上月間
 - ・6月、11月を中心に
 - ・授業公開、互見授業、授業観察・指導 等
- 各教科の系統性の把握
 - ・全学年まで何を学んできたのか、今後の学年で何を学ぶのか
- 図書館活用及びICT機器の活用
 - ・市立図書館、学校図書館の活用
 - ・学校司書との連携
 - ・情報の交流

■個別の指導の充実

- 個別の分析
 - ・「何ができているのか」「何ができていないのか」を明確にする
 - ・各種調査結果、単元の評価、日常に実践から



*授業とのリンク

- 個別の指導
 - ・朝の時間、放課後の時間 等
- 無回答への対応
 - ・気持ちの面、練習、習熟
- 学力向上ステップアップ講座

■家庭・地域との連携

- 家庭生活の充実
 - ・朝食、メディアの取組、時間の管理 等
- 家庭学習の充実
- 「学びの教室（小学校）」「学び塾（中学校）」のサポーターとの連携
- 学力向上会議
 - ・年2回開催、学力向上プランの共有
- 教育情報の共有
 - ・市HP、学校HP、学校だより 等

■その他

- 幼保小の連携、小中の連携の充実
- 引き継ぎの確認
 - ・学力、体力等（個人カルテ等）
 - ・くにさきっ子学習十カ条の実態
 - ・校内研究の取組
 - ・生徒指導上の内容
- 掲示物の充実
 - ・「年間」「学期」「学習中」等
 - ・「積み重ね」「学習内容」の見える形で

意図的に
 計画的に（継続的に）
 組織的に
 そして地道に！

- 子どもたちの学力保障
 - 可能性の引き出し
 - 夢の実現
-
- 年間で取り組む
 - 学期で取り組む
 - 月で取り組む
 - 週で取り組む
 - 毎日取り組む それに応じた評価
-
- 担当学年だけにしない
 - 担当教科だけにしない
 - 管理職を中心に一体となって
- ↓
- *全職員で何に取り組むか
(温度差が出ないように)

学力向上のサイクル

